

ジャンル	子ども・教育 日本語学習 医療・福祉 労働 災害対策 意識啓発 地域づくり 推進体制の整備 その他
事業名	Facebook 等のソーシャルメディアを活用した多言語情報の配信事業
団体名	公益財団法人浜松国際交流協会

***** 事業のポイント *****

- ① 防災や災害情報だけでなく、イベント情報や行政情報など硬軟取り混ぜた情報発信を行うことで、常にアクセスしてもらうようにする。
- ② ソーシャルワーク研修などの参加者で外国人コミュニティのリーダー核の人材に当協会 Facebook にアクセスしてもらうことで、情報の拡散をはかる。

助成年度	平成 24 年度地域国際化施策支援特別対策事業	事業総額	600 千円
------	-------------------------	------	--------

事業の内容、成果等

事業実施の背景

浜松市では外国人コミュニティへ多言語で情報を発信するツールとしては、広報紙のポルトガル語版・英語版と市のホームページ、FM ラジオの番組、防災情報のメール配信などがあるが、まだソーシャルメディアの利用は進んでいなかった。

また、市の広報紙や当協会の機関紙を情報源として使っている南米系外国人よりも、インターネットを利用している南米系外国人は非常に多い(「浜松市における南米系外国人及び日本人の実態調査結果 2010 年度」より。市の広報紙を情報源として回答した人は 45.3%、当協会の機関紙と回答した人は 16.1%、インターネットと回答した人は 70.3%)。しかし、市や当協会の多言語サイトの認知度は低い(市の多言語サイトは 10.8%)。そこで、より気軽に広くアクセスしてもらえる可能性のあるソーシャルネットワークを利用して、より多くの外国人住民に情報を届けることが望まれていた。

事業の内容

Face book を活用した多言語情報の配信事業

地域: 主に浜松市内の情報を配信

内容: 浜松市の行政情報、防災情報、国際交流協会のセミナー・イベント情報等

対象者: 外国人住民、外国人住民支援者、日本人住民

対応言語: ポルトガル語、英語、日本語

事業の成果

Facebook への掲載

全体 271 件(平成 24 年 6 月 6 日～平成 25 年 10 月 22 日)

内訳: 行政情報 31 件

防災情報 24 件

講座・イベント情報 169 件

法律相談等有用情報 47 件

「いいね」803 件(平成 25 年 10 月 22 日現在)

「週間リーチ数」2,431 件(10/9～10/15)



苦勞した点

- ・多言語にしようとするターゲットが定まらず、結局誰にも見てもらえないということになりかねない。そこで、わかりやすい日本語をベースとしながら、ポルトガル語、英語を適時混ぜて情報発信を行った。
- ・台風や地震など災害時の情報の発信は業務時間外でも必要であればやらなくては意味がない。時間外でも迅速に対応するために、複数の職員が自宅からでも情報を掲載するなど意識して行っている。
- ・災害情報等については早く信憑性のある情報を発信するために、市や国の情報源をリンクするようにしている。

今後の課題

- ・より多くの人にアクセスしてもらうように、Facebook にアクセスしてください、というちらしを各国語(日本語、ポルトガル語、英語、スペイン語、中国語の5ヶ国語併記)で作成して配布したり、機会があるごとに呼びかけるなど、より積極的にPRを行う。
- ・魅力的な情報をタイミングよく掲載していくために、担当職員のみでなく、複数職員が積極的に更新を行うようにする。